



「環境月間特集」
24年間続く 芦田川クリーン作戦

リョービ株式会社

～ 地元の美しい景観を守りたい ～

リョービは、事業活動に伴う環境負荷の低減や地域社会への貢献を目的として、1990年9月に「リョービ環境保全委員会」を設置しました。同委員会を中心にリョービグループ全体で省エネルギー、省資源、廃棄物の削減、温室効果ガスの削減、社会貢献活動に取り組んでいます。

今回は、これらの活動の中から「芦田川クリーン作戦」についてご紹介します。

リョービの本社がある広島県府中市は広島県東部に位置し、市内を流れる一級河川・芦田川と周辺に連なる山々が織りなすのどかな景色が広がっています。社員の多くは芦田川沿いの道路を利用し、四季折々に変化する芦田川の景色を楽しみながら通勤しています。一方で、車から降りて川沿いを歩いてみると、車中から投げ捨てられたと思われるゴミが散乱しているという残念な現実も。

1990年11月、この地元の芦田川の景観を守りたいとの思いから、「リョービ環境保全委員会」が中心となって、芦田川および本社周辺を清掃する「芦田川クリーン作戦」という活動を始めました。毎年秋の休日の早朝に、社員やその家族が参加して、空き缶や空き瓶、タバコの吸殻などを拾って歩きます。子供たちも一緒に参加するため、美しい景色とすがすがしい空気に触れて、楽しみながら環境保全への意識を高められると社員にも好評です。

昨年、当社は創立70周年を迎え、11月には70周年記念式典を開催しました。式典当日の朝には、24回目となる「芦田川クリーン作戦」を実施し、地域の皆様への感謝の意を込めて、社長を含む総勢約600人が参加して気持ちの良い汗を流しました。

これからもリョービグループは、この活動を継続することで、地域社会に貢献すると共に美しい自然環境を守っていききたいと思えます。



会社周辺の川土手を清掃する社員



子供たちも自然と環境保全への意識が向上すると好評